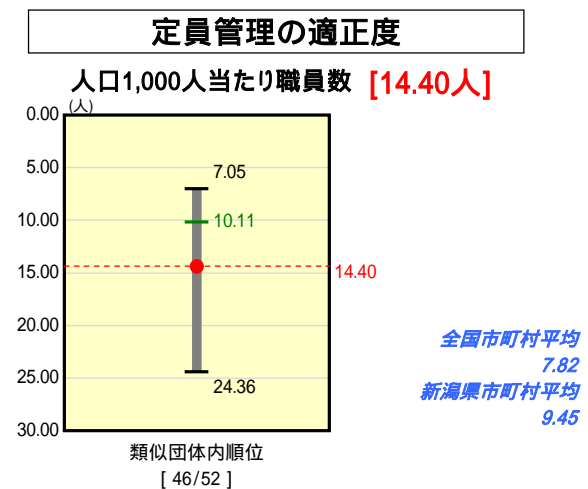
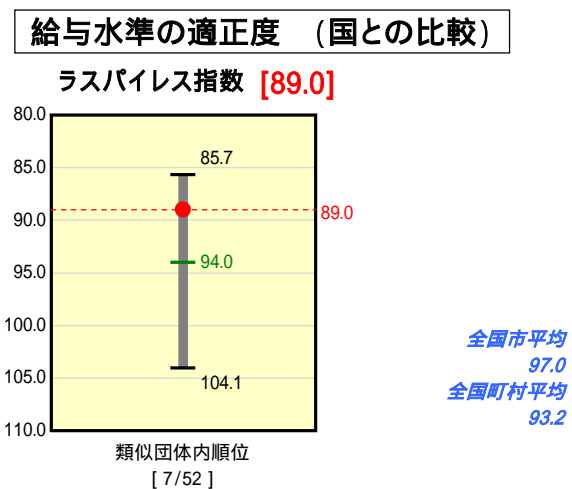
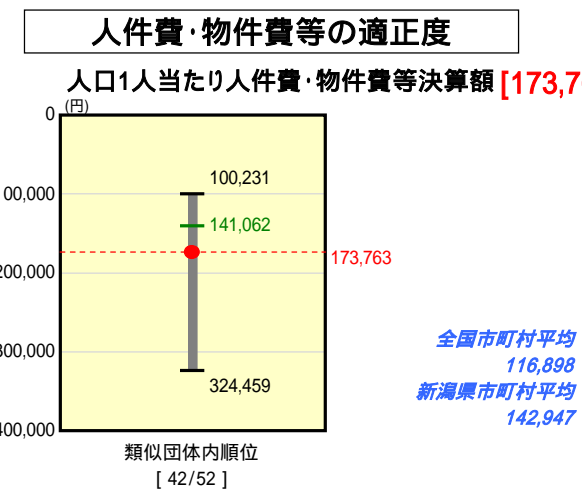
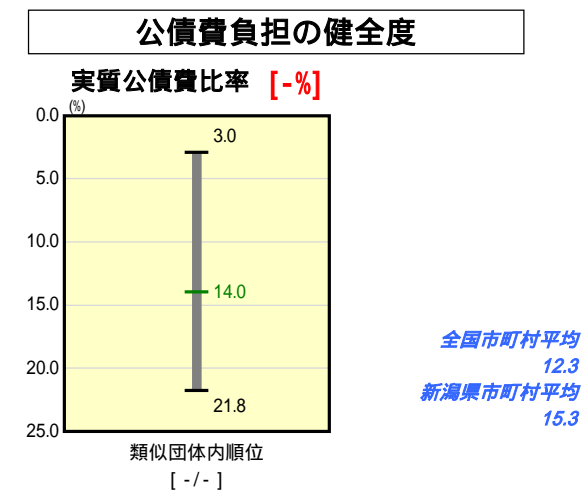
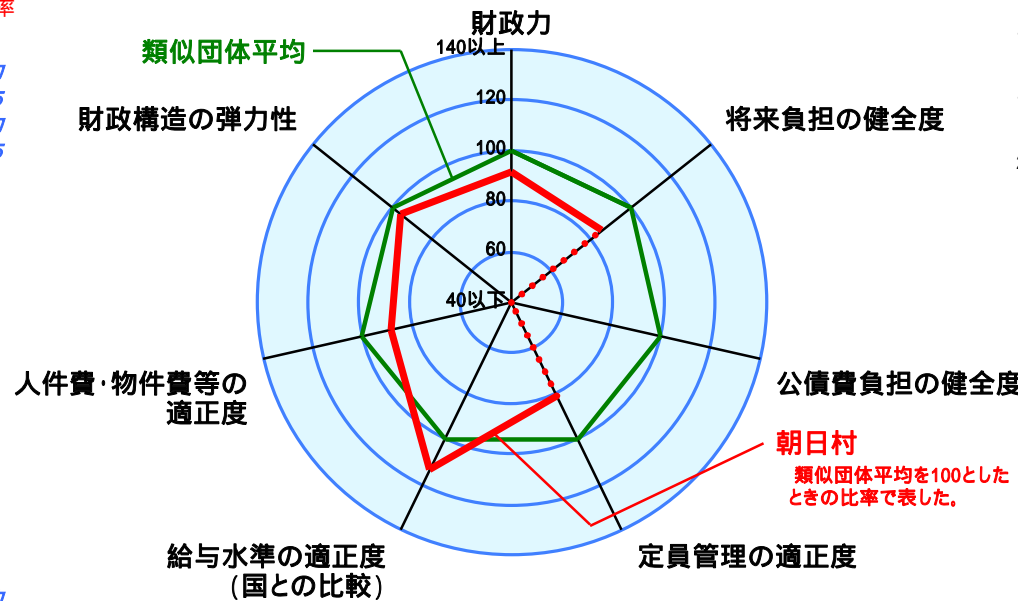
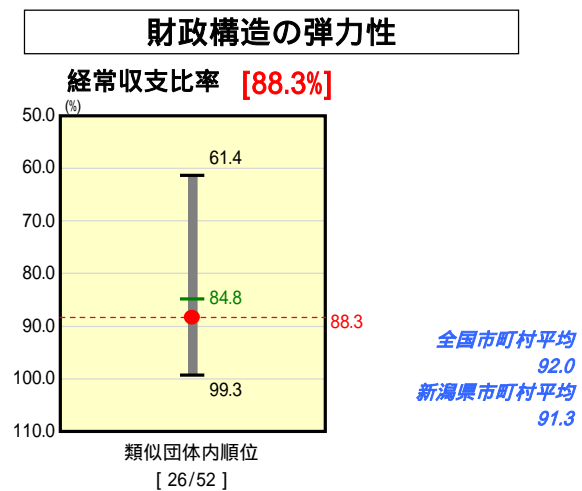
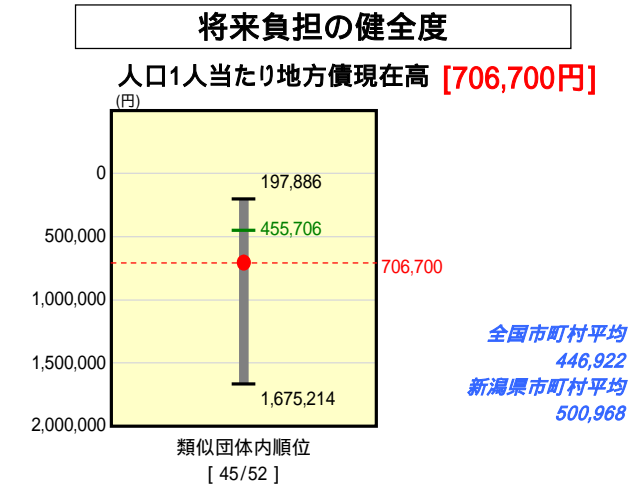
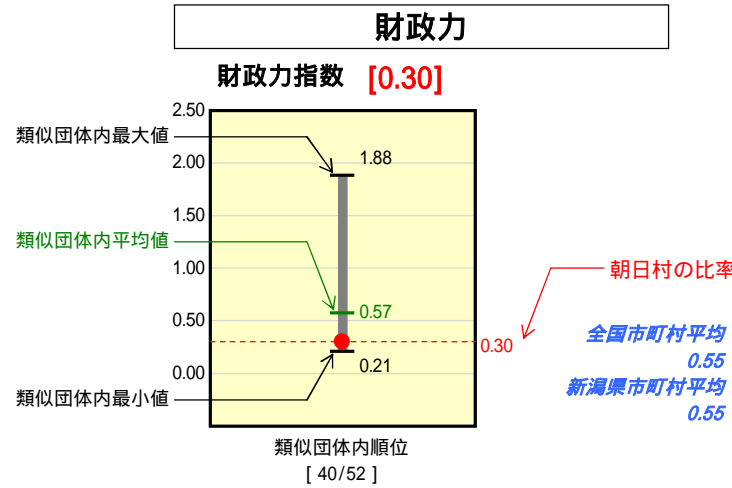


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 新潟県 朝日村

人口	11,458 人	(H20.3.31現在)
面積	629.32 km <sup>2</sup>	
歳入総額	6,351,453 千円	
歳出総額	6,226,620 千円	
実質収支	124,833 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

平成20年4月1日合併により村上市となった。(村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村)

**財政力指数**  
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、村内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。地方税の収入能力は低く、交付税への依存度は高い。

**経常収支比率**  
平成18年度よりも3.2%上昇し、類似団体平均を上回っている。除雪経費の増加が主な原因と思われるが、合併打切決算に伴う経常一般財源の未収入があるため単純な前年度との比較は出来ない。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体平均を上回っている要因として、除雪経費の増加に伴う維持補修費の増加、人口急増期の大量採用による人件費が考えられる。

**ラスパイレス指数**  
89.0と類似団体のなかでは低水準となっている。

**人口1人当たり地方債現在高**  
過去に実施した大規模事業により類似団体平均を上回っているが、過疎・辺地対策事業債といった交付税により後年度財政措置の得られる起債を主に措置している。

**人口1,000人当たり職員数**  
人口急増期の行政需要の急速な増加に対応するため、職員を大量に採用したことにより、類似団体平均を上回っている。また、類似団体のなかでも面積が広大なことも要因と思われる。